

クンドルニュース



今年もよろしく
お願いします！

Kyushu United Nations Depository Library

九州国連寄託図書館

中高生対象

イベントを開催しました！

大学生と一緒にグローバルと
SDGsについて考えよう！

~Your Action for your future~



日時：令和5年12月3日(日) 13時～16時30分

会場：福岡市総合図書館 第1会議室(3階)

主催：国連ハビタット福岡 日本国際連合協会福岡県本部
福岡市総合図書館(九州国連寄託図書館)

参加者：中・高校生12名 大学生6名

内容：

- ①「大学生のグローバル活動から学ぶ」大学生4グループの活動報告
- ②「ハビタット村の復興ワークショップ」
- ③中高生と大学生のグローバル交流会



当館での中学生・高校生と大学生のコラボイベントは平成27年の初開催から今回で9回目を迎えますが、今年は「国連ハビタット福岡」の主導でさらに魅力的なイベントとなりました！

大学生の活動報告では、九州産業大学、西南学院大学、福岡女子大学(地域が抱える社会課題に自分たちなりの活動を考案して行っている学生有志グループ「PUKA」)、ハビタット福岡の学生の皆さんから、写真や動画を交えて魅力ある発表をしていただき、質疑応答では中高生の参加者から次々と手が挙がり、興味の深さがうかがえました。

3グループに分かれて行ったワークショップでは、それぞれが大雨で被災した架空の村「ハビタット村」の住民になりきり、被災後の村の復興方法を話し合いました。周りの人々の立場や村全体の将来も考慮に入れながら、何を優先し対処していくのか、という決断は今後の人生においても直面するだろう問題です。自分の思いを伝え、相手の意見にも真摯に耳を傾け、意見をすり合わせていくという過程で白熱した議論が交わされている様子が印象的でした。最後の各グループの発表はどれも熱い思いが伝わってくる内容で、どのグループも大きな拍手を浴びていました。

各グループについての大学生が中高生を優しくサポートしていて、中高生が年の近い先輩と話し合う様子は、大人相手とは異なり、より心を開き本音で接することができるように思えました。

大学生から自身の活動について話を聞くこと、国連ハビタットの紹介やワークショップ、交流会を通じて、大学生になることへのモチベーションの向上にもつながったはずです。グローバル・SDGsをキーワードに、将来に向けての希望や意欲に満ちた会場は、若者たちのエネルギーであふれていました！



ラテン語で住まいを意味する「ハビタット」という言葉を用いて国連ハビタットと呼ばれています。

★国連ハビタットとは？

—正式名称は国際連合人間居住計画
(United Nations Human Settlements Programme)
人々が安心して快適に暮らせる「まちづくり」を推進する国連の専門機関として、1978年に設立。

★福岡に国連機関があるの？

—国連ハビタット福岡本部は九州にある唯一の国連機関です。
アクロス福岡の8階に事務所があります。現在6カ国16名の職員が働き、国連ハビタットが世界に4カ所設置している地域本部の1つとして、42カ国を支援対象国として活動しています。

★どんな活動をしているの？

—災害や紛争で家やまちを失った人々の復興支援、スラムなどの住環境改善、都市計画の策定支援などを行い、社会的・環境的に全ての人々が適切な住居を確保できるようになることを目指して活動しています。

イベント関連情報、ウラへ続きます！



藤田 凜さん

Q 簡単に自己紹介をお願いします

— 西南学院大学法学部法律学科3年生です。大学時代は海外ボランティアをきっかけに貧困問題に興味を持ち、小学生から高校生に向けて貧困問題を伝える活動をしています。

Q 好きな言葉はありますか？

— 「やらない後悔よりもやった後悔」「かつこ悪くてもやる」。高校時代までは何か挑戦したくても勇気が出ずに思いとどまってしまうことも多くありました。しかし、この言葉に出会ってからは自分の可能性を信じて何にでも飛び込めるようになりました。

Q おすすめの本はありますか？

— 中山七里さんの「ドクター・デスの遺産」。安楽死や尊厳死を違法としている日本で、「死ぬ権利」が認められないのはなぜか、安楽死は本当に悪なのか、それを判断するのは法律だけなのか、などすごく考えさせられた本でした。

Q 将来の夢は？

— 将来は地域の方々に貢献したいという思いから、地方創生やまちづくりのできる環境に身を置きたいと思っています。

Q 印象に残る海外での体験があれば教えてください

大学2年生の頃に参加したフィリピンの貧困地域を支援する海外ボランティアが思い出に残っています。活動中は現地の方々の温かさに触れながら、貧困地域の子供たちに衛生教育をしたり、現地の方の生活を体験したりとたくさんのことを経験できた時間でした。また、キリスト教に触れることもできたので自分にはない新しい考え方も学ぶことができました。

Q 自己アピールをどうぞ！

— 海外での経験は自分を大きく変える出来事になりました。これからもこの経験を誰かに伝えていきたいと思ひますし、たくさんの方々にも海外の問題に触れたり、異文化を経験したりしてほしいと思ひます。



今回のイベントで、優しい笑顔で中高生への気遣いも見せつつ、やるべきことを頼もしくこなしていく姿が印象的だった藤田さん！

活動報告では、西南学院大学で実施されているフィリピンでの海外ボランティア・ワークキャンプの様子を（非衛生的な生活環境、路上で物を売っている子どもたちなどの現状を目の当たりにしての感情も含めて）レポートしてくれました。現地の小学校で、歌に合わせて手の洗い方を指導したりなど、子どもたちと笑顔で懸命にコミュニケーションしている様子も感銘を受けました。

ご存知ですか？ 国際デー



1月24日
教育の国際デー
International Day
of Education

国連は、2018年12月の国連総会において、世界の平和と開発のために教育が果たす重要な役割を確認し尊重することを目的に、1月24日を「教育の国際デー」と宣言する決議（[A/RES/73/25](#)）を採択しました。教育を受ける権利は、すべての人が享受すべき基本的な人権であり、SDGsの17の目標達成にも教育は不可欠です。世界的な不平等の拡大や、気候変動といった課題が山積する中、世界の未来を変えることができるのは、次世代を担う子どもたちと若者です。今こそ教育を最優先に、誰も取り残さない支援が求められています。



編集後記



今回紹介した中高生対象のイベント、若者同士の交流の機会の場合として価値のある機会と信じています。今年参加した中高生が次は大学生側になり、再び集えたらそれはまた素敵なことです。

熱意をもった若者たちが、自分と世界の将来を真剣に考え、自信を持って夢をかなえていきつかけになればと切に願います。

詳細をお知りになりたい方は、ぜひ2階国際・国連カウンターにお立ち寄りください！



九州国連寄託図書館

〒814-0001 福岡市早良区百道浜3丁目7番1号 福岡市総合図書館 2階
TEL 092 (852) 0628

開館時間：10:00～20:00
10:00～19:00（日・祭日）
* 相談業務は 19:00（日・祭日 18:00）まで

休 み：毎週月曜・毎月月末
（休日のときはその翌平日）
年末年始・図書特別整理期間